

カラス避け WILDLIFE-SOUND1

本装置は、野生鳥獣のDNAに書かれた天敵の鳴き声を利用して、本装置が設置された場所への接近を防ぐことを目的としたものです。

単純な爆音機とは異なり、設置することで近隣からのクレームはまず生じません、むしろ懐かしいと。具体的には、果樹園ほか耕作被害、観光地の糞害、ソーラー発電施設への悪さ等などへの対策です。彼らの学習能力に負けない工夫が色々と施してあります。

使用電源：DC12V

バッテリー、電源アダプタ、ソーラー・パネルを使った独立電源に対応します(これら電源装置は、オプション/別売)。

本機だけの使用ですと、DC12V 平均80mA程度と、省電力設計(スリープ時は、15mA程度)。

バッテリー運用でも、ワン・シーズン実用に供します(32Ah普通車搭載バッテリーで、連続400時間稼働と試算できます)。

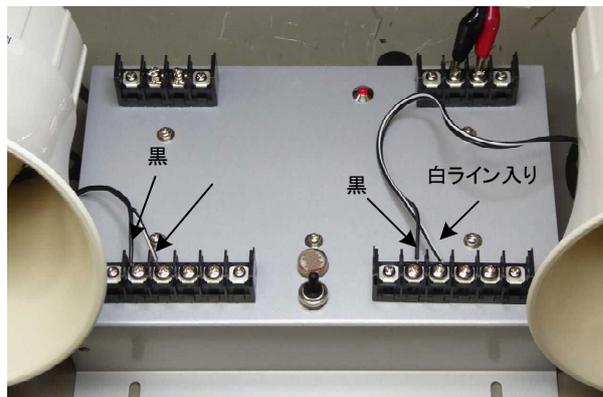
モデルは、2タイプ(ご注文時に、選択いただきます)

人感センサ、あるいはタイマの利用による接点信号により駆動するモデルと、光量によって動作するモデルの2タイプ。

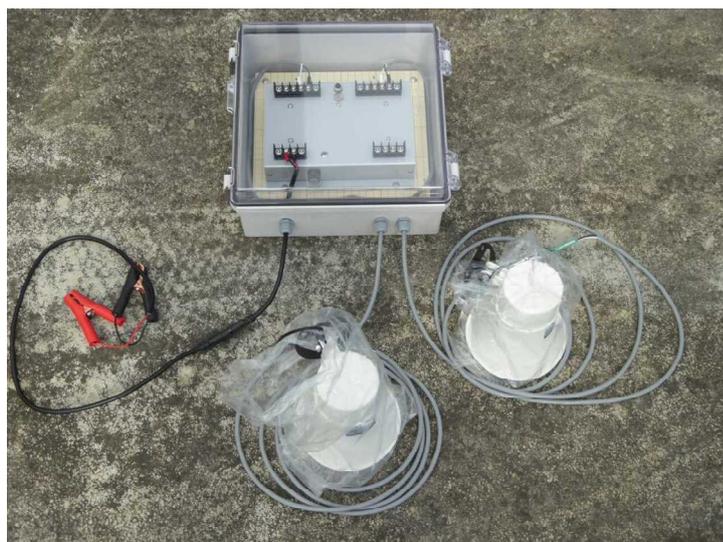
2モデルとも、外観は同じです(共通)



電源は、DC12V(赤側+)



実際の設置には、本体とセットの屋外用スピーカーを接続して使用します(端子左端2:黒 端子3:白ライン入り)。必要に応じて、スピーカーケーブルは延長して下さい。



園地に設置する =光量Typeの例=

明るさでON-OFFできるように透明蓋の屋外用防水キャビネットに収納します。

配線は、ケーブルグランドを通して行い、防水性を維持します。

ワン・シーズンであれば、普通車用のバッテリー1個で交換することなく運用できると思います。

また、簡易な方法として、5~10Wクラスのソーラーパネル(12V用 逆流防止ダイオード付)を併用していただければ、長期間連続稼働OKとなります。

製品の構成は、本体とトランペットスピーカー2個

設置における注意点ほか

カラスたちに、人が関わっていることを知られないよう注意して下さい。

これ見よがしに鳴らしたりすることは、最悪のパターンとお考え下さい。

装置を隠し(防水の意味も)、スピーカーも隠して、二つのスピーカーを離して設置します。

二つ同じ条件での再生ではありません、設置位置を悟られない工夫や立体的に音を動かす工夫があります。

朝夕の時間帯だけ鳴らす、あるいはわざと停止させるなど、運用の変化が奏効するケースもあります。

スピーカー片側だけ使うことで、発声頻度を落とすことも可能です(住宅地に設置の場合)。